



12月7日(月)

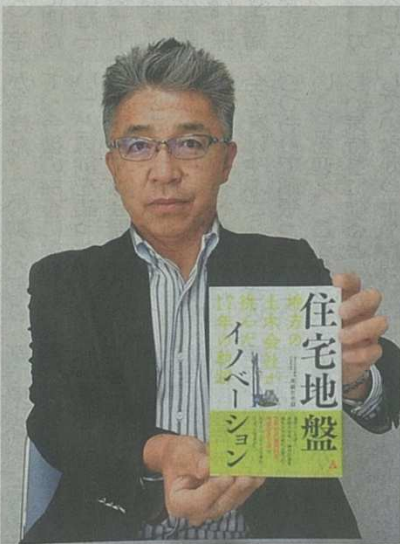
2020年(令和2年)

新工法開発の苦難本に

環境に優しい地盤改良

持続可能な社会を目指し、環境に優しい住宅の地盤改良工事に2003年から取り組んできた松阪市飯高町宮前の土建業「尾鍋組」の尾鍋哲也社長(58)が、17年間の軌跡を本にまとめ、「住宅地盤インノベーション」(合同フォレスト発行)として出版した。関係する会社の倒産や自社の年間売り上げを超える多額の開発費を費やしながら母校の三重大と共同研究を続け、地方の中小企業が全国各地に施工代理店を持つまでになった苦難と成功の過程が記されている。

松阪の土建業「尾鍋組」社長



「住宅地盤インノベーション」と尾鍋哲也社長「松阪市の尾鍋組で」

たダイレクトメールだった。セメントや鋼管のくいをかわす砕石だけで地盤を固める環境負荷の低い工法に魅力を感じ、多額の投資をして施工代理店になった。しかし、その工法は施工の

手間と日数がかかり、販売価格も高かったため売り上げは伸びなかった。そのうち、その工法の開発会社が倒産し、個人資金も投入するなどしながら手探りで新工法の自社開発を決断。三重大や地盤改良

から手探りで新工法の自社開発を決断。三重大や地盤改良集まるようになった。尾鍋社長は「一途方に暮れていた時、支援してくれる多くの人との奇跡的な出会いがあり、ここまでこられた。成功本として読んでもらうのではなく、未来のために、土地の価値を下げることがない環境に優しい工法があることを知ってほしい」と話している。

装置の製造会社などの協力を得ながら複数の特許も取得し、「エコジョ工法」と名付けた新技術を開発した。10月末現在、施工代理店は青森県から宮崎県まで54カ所であり、同工法を採用した住宅会社は3000社以上。全国での施工実績は1万9000件以上にのぼる。従業員14人の会社の全国展開に注目が集まるようになった。

【田中功一】

一部1650円で、3000部出版。問い合わせは尾鍋組(05988・46・0121)へ。